



**2020年3月期  
第2四半期  
決算説明会**

**2019年11月13日**

**旭ダイヤモンド工業株式会社**



# 1. 2020年3月期第2四半期決算の概要

## 2. 2020年3月期の見通し

## 3. 成長戦略と中期経営計画

# 決算概要（連結）

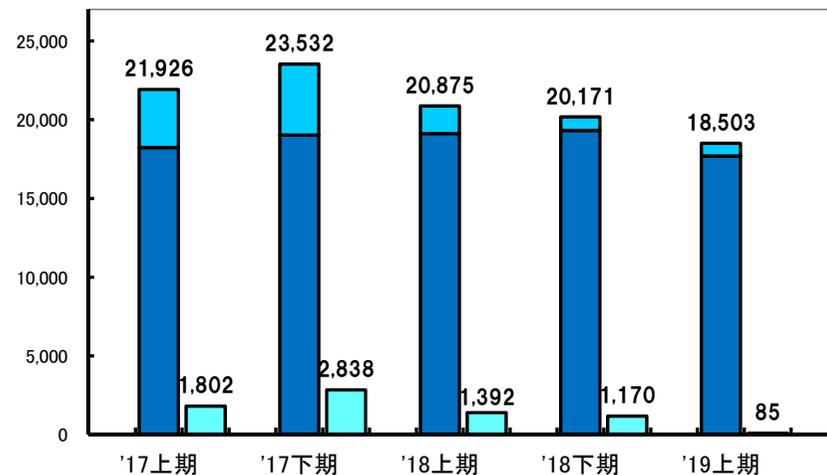
単位：百万円

	'19年3月期		'20年3月期		
	上期実績 '18/4-9	百分比 %	上期実績 '19/4-9	百分比 %	前年同期 増減額
売上高	20,875	100.0	18,503	100.0	▲2,371
営業利益	1,392	6.7	85	0.5	▲1,307
経常利益	1,678	8.0	199	1.1	▲1,478
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,240	5.9	337	1.8	▲903
1株当たり純利益（円）	22.29	-	6.08	-	▲16.21

売上高  
(百万円)

## 売上高・営業利益

■電着ワイヤ以外の売上高 ■電着ワイヤの売上高 ■営業利益



## ■営業利益 (対前期増減)

- ◆ 増加要因
  - ・人件費の減少 454百万円
- ◆ 減少要因
  - ・売上の減少 922百万円
  - ・棚卸資産の影響 733百万円



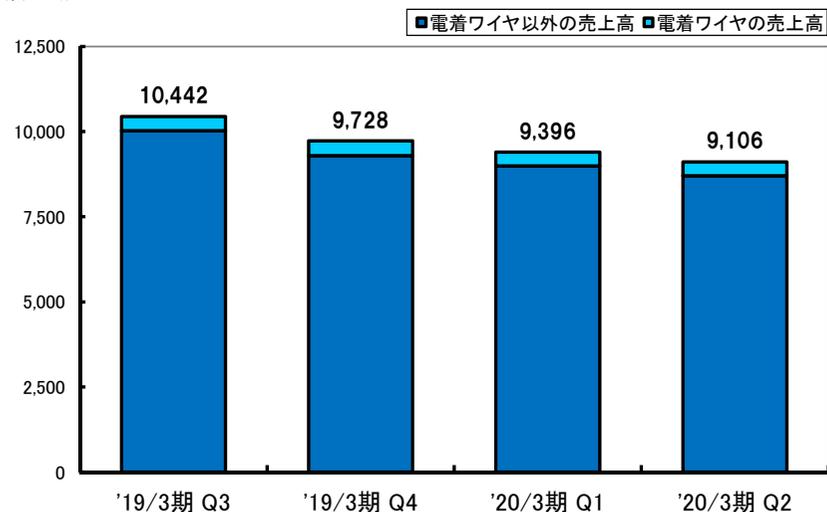
# 四半期別実績推移（連結）

単位：百万円

	'19年3月期				'20年3月期			
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期	
	実績	百分比 %	実績	百分比 %	実績	百分比 %	実績	百分比 %
売上高	10,442	100.0	9,728	100.0	9,396	100.0	9,106	100.0
営業利益	856	8.2	313	3.2	148	1.6	▲62	▲0.7
経常利益	907	8.7	522	5.4	180	1.9	19	0.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	586	5.6	494	5.1	176	1.9	160	1.8

売上高  
(百万円)

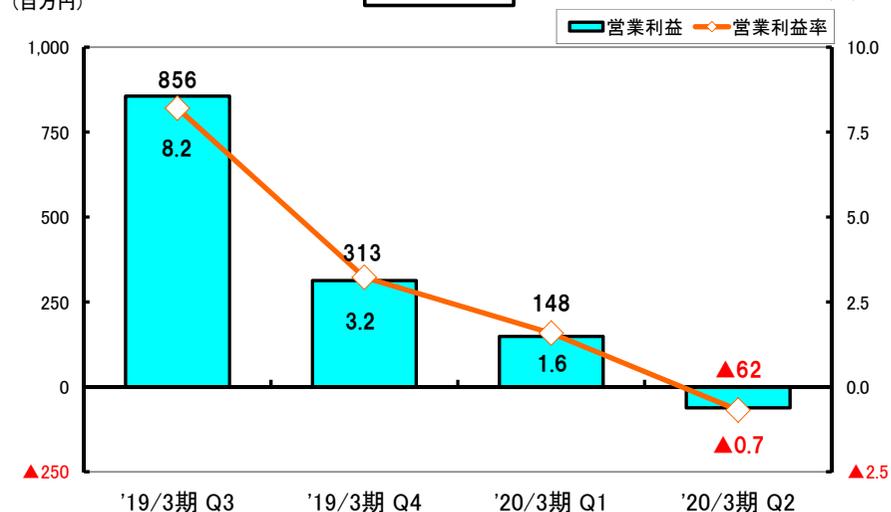
売上高



営業利益  
(百万円)

営業利益

営業利益率  
(%)

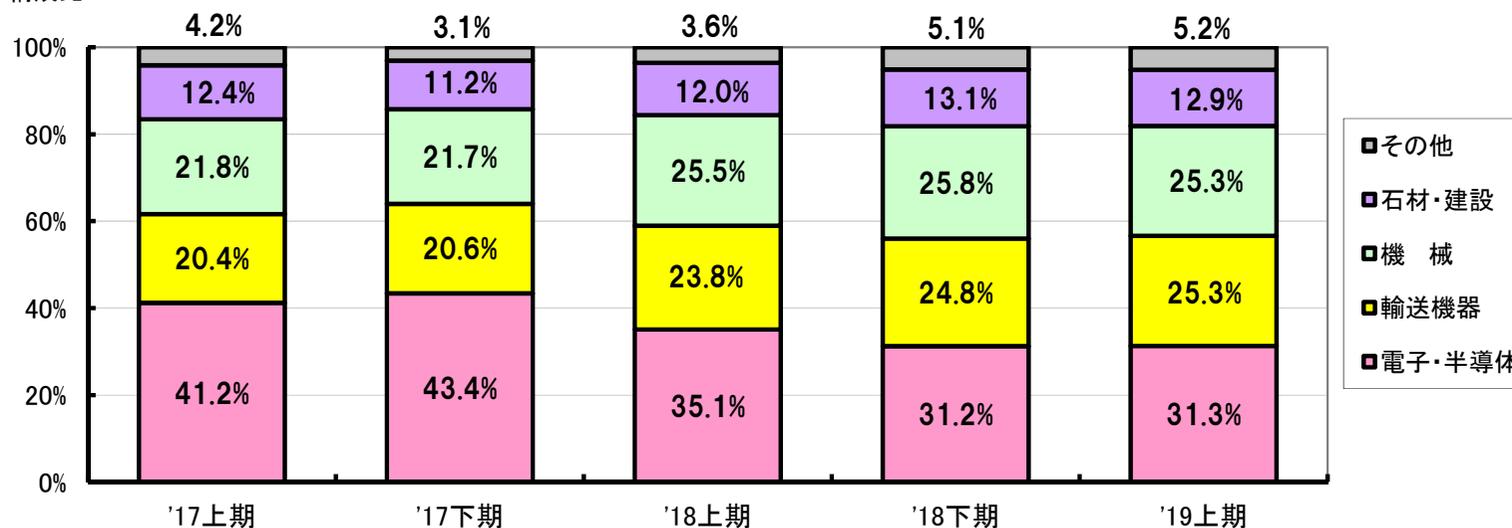


# 業界別売上高及び構成比(連結)

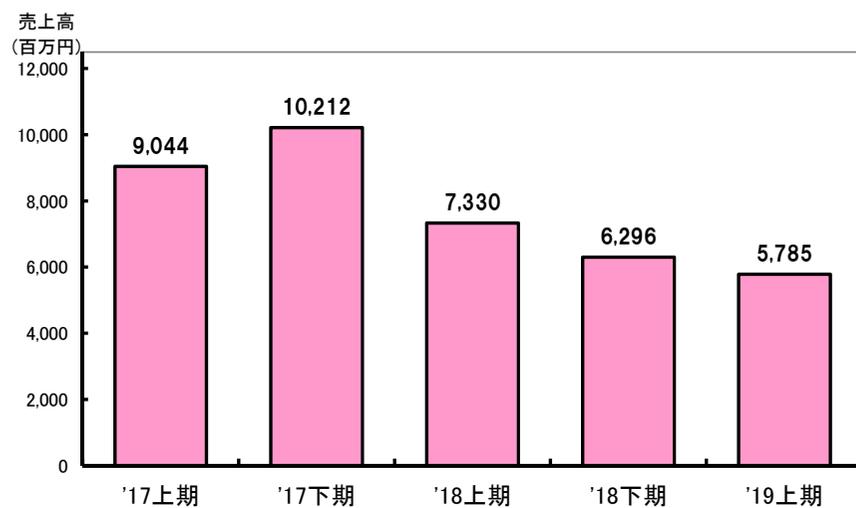
単位:百万円

	'19年3月期				'20年3月期			
	上期実績 '18/4-9	構成比 %	下期実績 '18/10-'19/3	構成比 %	上期実績 '19/4-9	構成比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
電子・半導体	7,330	35.1	6,296	31.2	5,785	31.3	▲1,545	▲21.1
輸送機器	4,962	23.8	4,993	24.8	4,693	25.3	▲268	▲5.4
機械	5,314	25.5	5,194	25.8	4,675	25.3	▲638	▲12.0
石材・建設	2,509	12.0	2,649	13.1	2,388	12.9	▲120	▲4.8
その他	758	3.6	1,037	5.1	960	5.2	+201	+26.6
合計	20,875	100.0	20,171	100.0	18,503	100.0	▲2,371	▲11.4

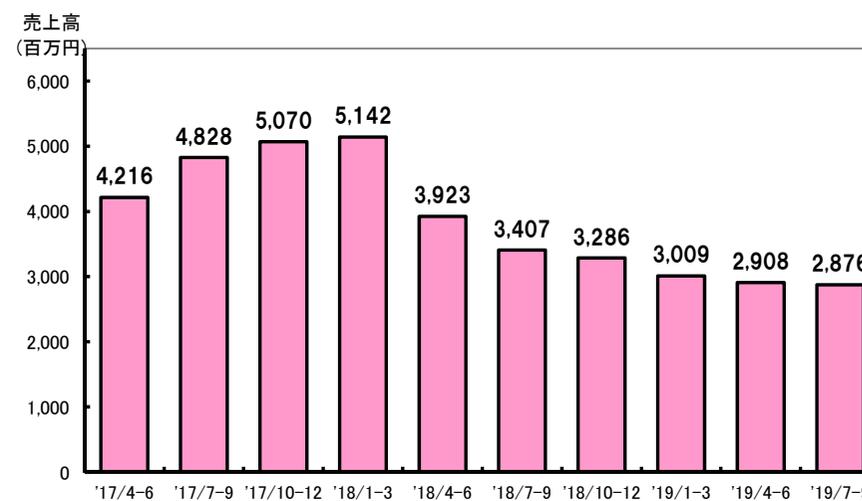
構成比



【半 期】



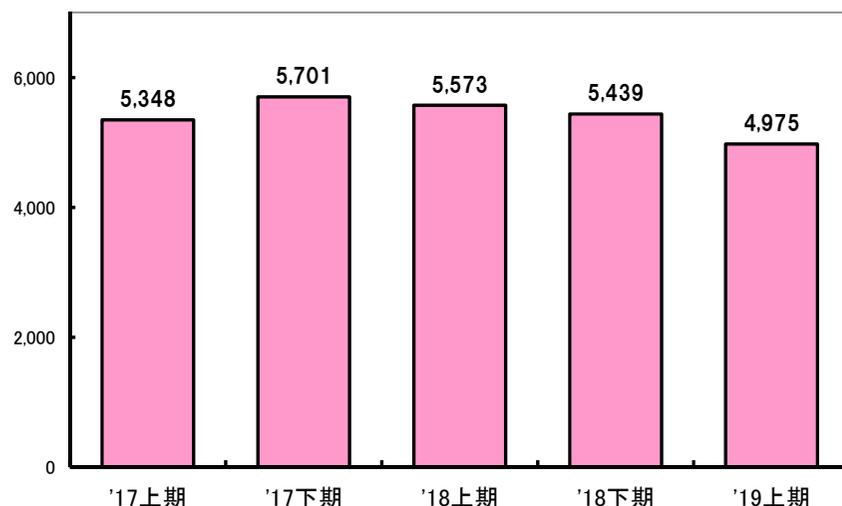
【四半期】



# 業界別売上高：① 電子・半導体 (電着ダイヤモンドワイヤ除く)

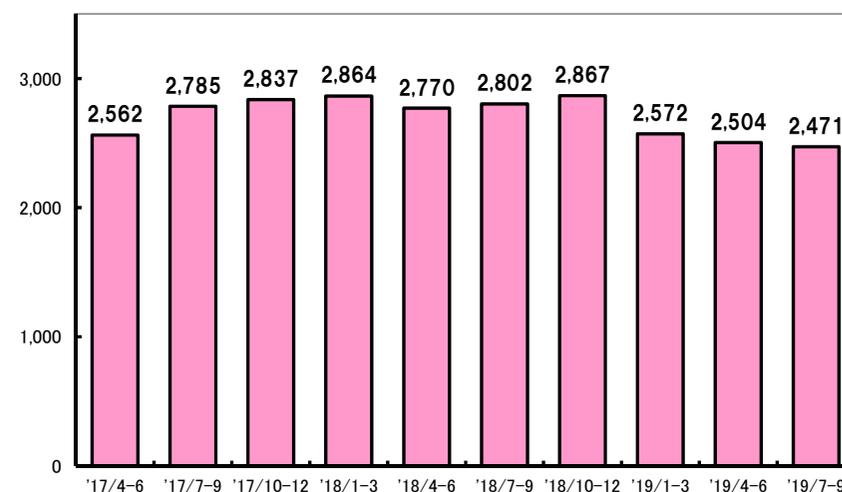
【半 期】

売上高  
(百万円)



【四半期】

売上高  
(百万円)



## ◆半導体・電子部品

メモリー等、半導体の生産減により、関連工具の販売は前年同期比で減少

## ◆FPD

主要販売先の生産減により、関連工具の販売は前年同期比で減少

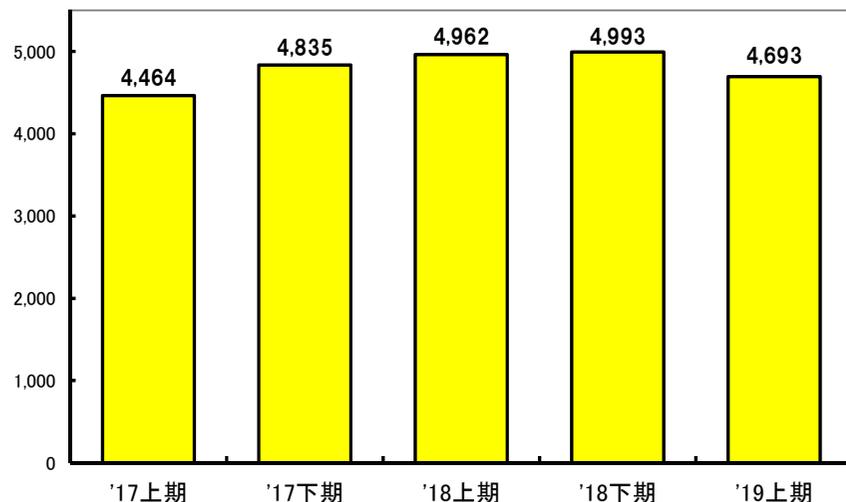
## ◆伸 線

ボンディング・ワイヤ用及びソー・ワイヤ用ダイス、共に前年同期比で減少



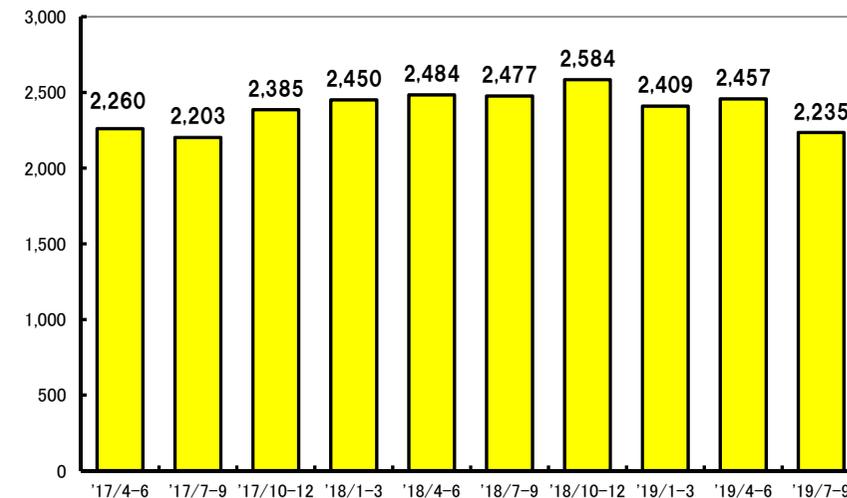
【半 期】

売上高  
(百万円)



【四半期】

売上高  
(百万円)



◆自動車

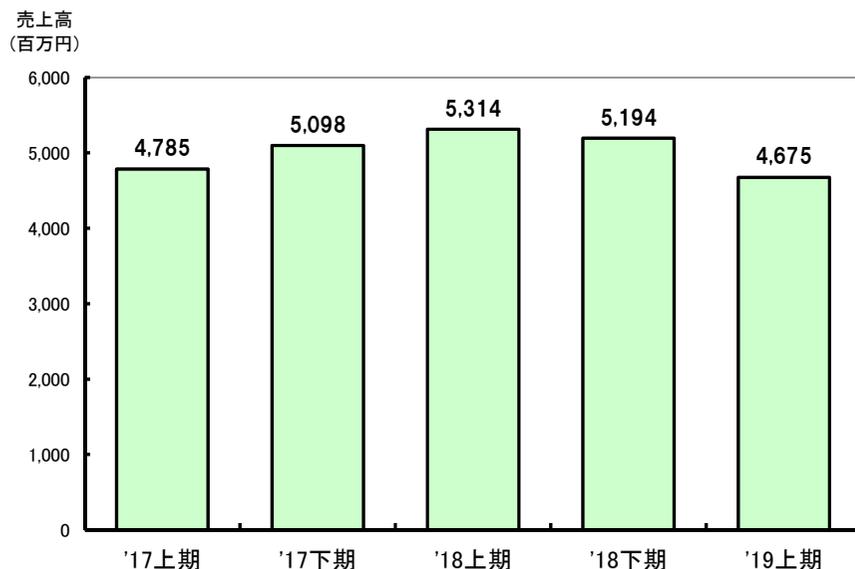
中国や欧州の自動車生産が低調で、海外向け関連工具の販売が減少

◆航空機

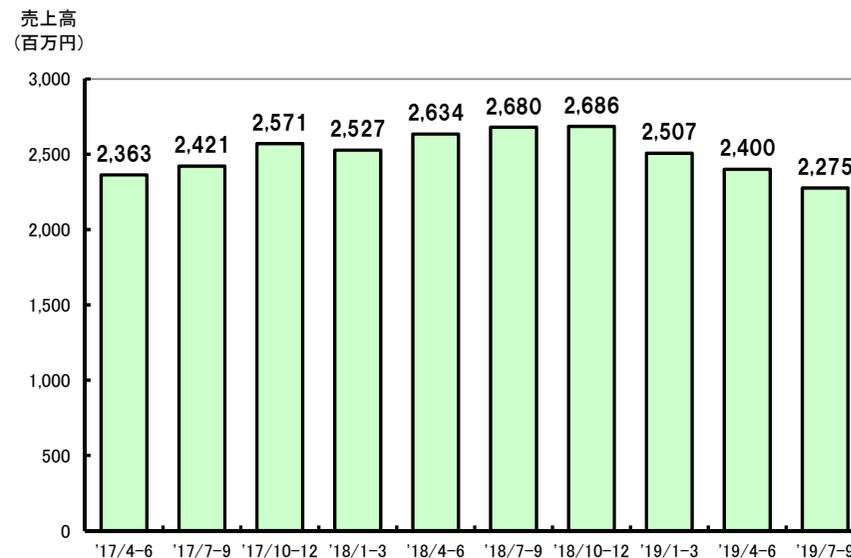
航空機の生産増により、関連工具の販売が増加



【半 期】



【四半期】



◆ 軸 受

中国の自動車生産減及び国内工作機械業界の受注減により、関連工具の販売が減少

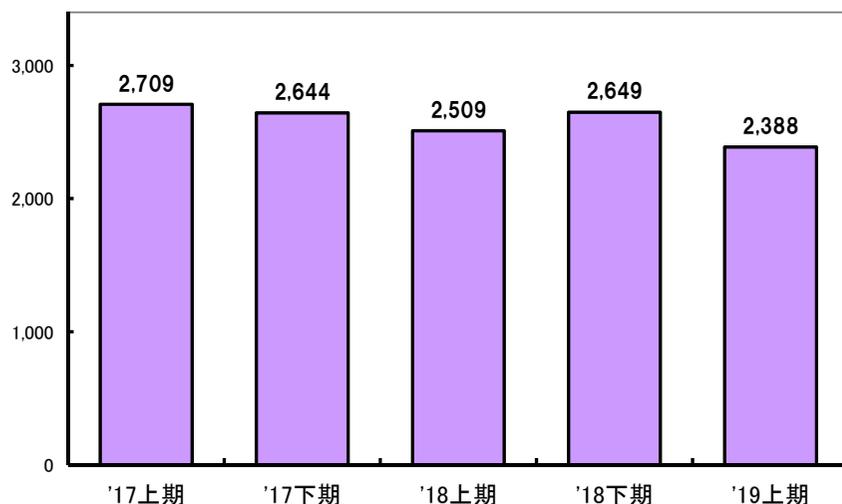
◆ 超硬工具

国内超硬工具の生産減により、関連工具の販売が減少



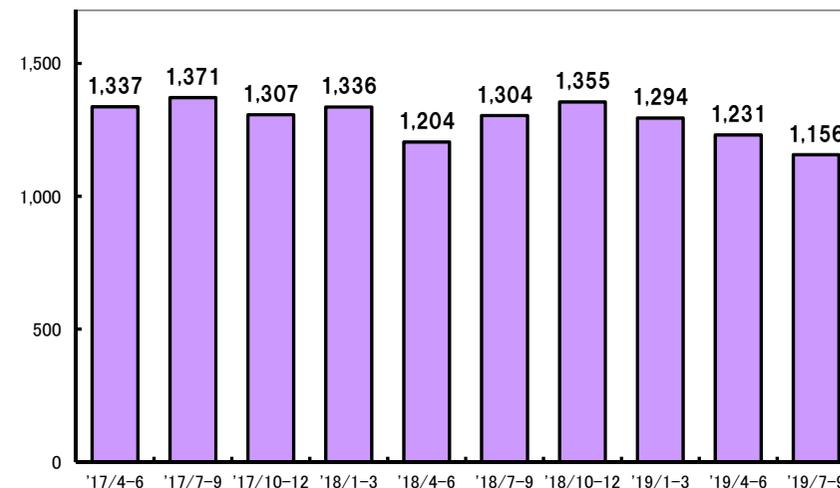
【半 期】

売上高  
(百万円)



【四半期】

売上高  
(百万円)



## ◆ 鉱物資源探査

海外が堅調に推移し、関連工具の販売が増加

## ◆ 国内建設

道路関係の公共工事は低調も、解体工事用工具の受注増で、関連工具の販売が増加

## ◆ 流通商品 (ポータブルカッタ)

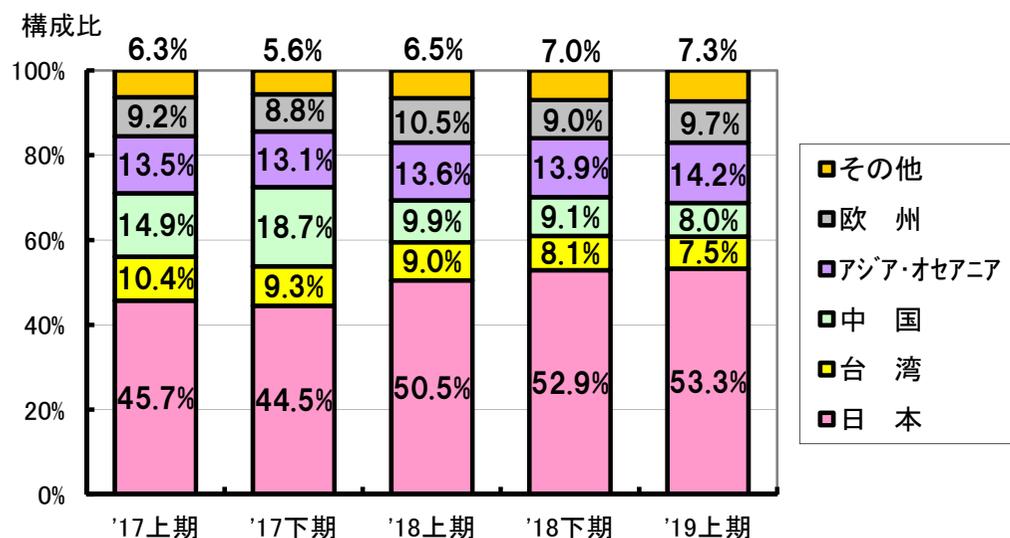
海外主要販売先向け減少



# 地域別売上高及び構成比(連結)

単位: 百万円

	'19年3月期				'20年3月期			
	上期実績 '18/4-9	構成比 %	下期実績 '18/10-'19/3	構成比 %	上期実績 '19/4-9	構成比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
日 本	10,552	50.5	10,667	52.9	9,866	53.3	▲686	▲6.5
台 湾	1,883	9.0	1,636	8.1	1,395	7.5	▲488	▲25.9
中 国	2,069	9.9	1,827	9.1	1,477	8.0	▲592	▲28.6
その他アジア・オセアニア	2,829	13.6	2,812	13.9	2,628	14.2	▲200	▲7.1
欧 州	2,185	10.5	1,821	9.0	1,793	9.7	▲391	▲17.9
そ の 他	1,355	6.5	1,405	7.0	1,342	7.3	▲12	▲0.9
海 外 計	10,322	49.5	9,503	47.1	8,636	46.7	▲1,685	▲16.3
合 計	20,875	100.0	20,171	100.0	18,503	100.0	▲2,371	▲11.4



- ◆ 日本  
主力業界の販売減少
- ◆ 中国・台湾  
電着ワイヤの販売減少
- ◆ 欧州  
全体的に低調

# 連結貸借対照表

単位：百万円

	'19年3月末	'19年9月末	増減		'19年3月末	'19年9月末	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現金及び預金	14,886	15,973	+1,086	支払手形及び買掛金	1,563	1,256	▲307
受取手形及び売掛金	11,255	9,800	▲1,454	未払法人税等	93	137	+43
たな卸資産	6,621	5,922	▲698	退職給付に係る負債	7,779	7,524	▲254
有形固定資産	21,576	21,758	+182	その他	4,583	4,022	▲561
無形固定資産	143	190	+46	<b>負債合計</b>	14,019	12,940	▲1,079
投資有価証券	13,526	12,908	▲617	<b>純資産の部</b>			
その他	5,038	4,642	▲395	<b>純資産合計</b>	59,028	58,256	▲771
<b>資産合計</b>	73,047	71,196	▲1,851	<b>負債純資産合計</b>	73,047	71,196	▲1,851



# 1. 2020年3月期第2四半期決算の概要

## 2. 2020年3月期の見通し

# 3. 成長戦略と中期経営計画

単位:百万円

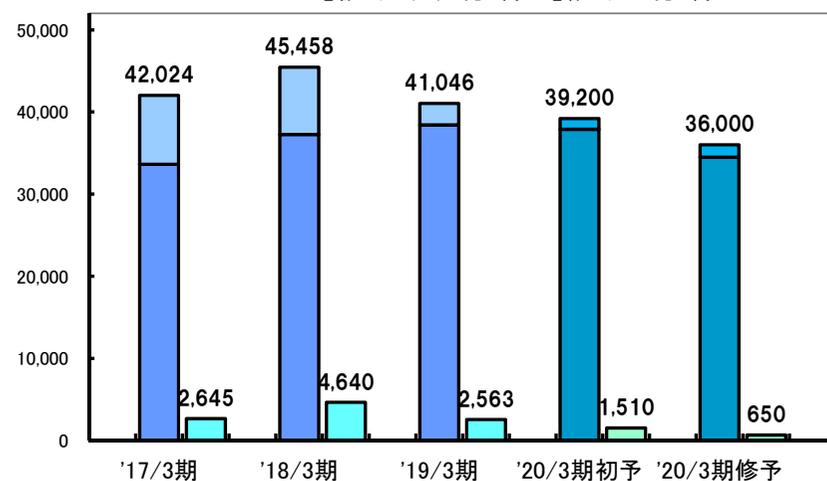
	'19年3月期 通期実績	百分比 %	'20年3月期 通期期初予想	百分比 %	'20年3月期 通期修正予想	百分比 %	対期初予想 増減額	前年同期 増減率%
売上高	41,046	100.0	39,200	100.0	36,000	100.0	▲3,200	▲12.3
営業利益	2,563	6.2	1,510	3.9	650	1.8	▲860	▲74.6
経常利益	3,108	7.6	1,950	5.0	1,020	2.8	▲930	▲67.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,321	5.7	1,200	3.1	950	2.6	▲250	▲59.1

注)修正予想は2019年10月31日発表数字

売上高  
(百万円)

## 売上高・営業利益

■電着ワイヤ以外の売上高 ■電着ワイヤの売上高 ■営業利益



## ■営業利益(対前期増減)

### ◆増加要因

- ・人件費の減少

789百万円

### ◆減少要因

- ・売上の減少
- ・減価償却費の増加

2,837百万円

105百万円

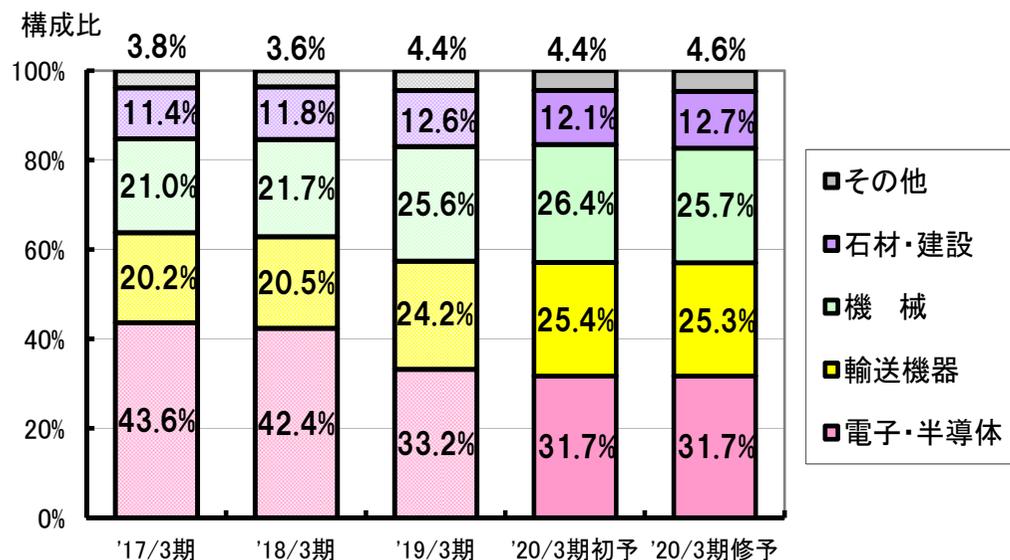


# 業界別売上高及び構成比見通し(連結)

単位:百万円

	'19年3月期 通期実績	構成比 %	'20年3月期 通期期初予想	構成比 %	'20年3月期 通期修正予想	構成比 %	対期初予想 増減額	前年同期 増減率%
電子・半導体	13,626	33.2	12,440	31.7	11,400	31.7	▲1,040	▲16.3
輸送機器	9,955	24.2	9,970	25.4	9,100	25.3	▲870	▲8.6
機械	10,508	25.6	10,330	26.4	9,250	25.7	▲1,080	▲12.0
石材・建設	5,158	12.6	4,730	12.1	4,580	12.7	▲150	▲11.2
その他	1,796	4.4	1,730	4.4	1,670	4.6	▲60	▲7.0
合計	41,046	100.0	39,200	100.0	36,000	100.0	▲3,200	▲12.3

注)修正予想は2019年10月31日発表数字



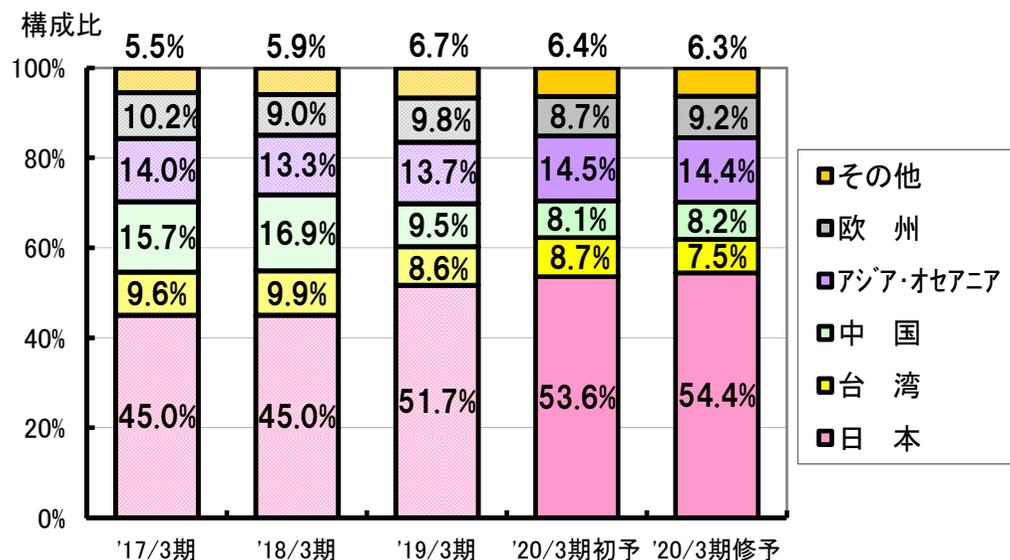
- ◆ **電子・半導体**  
業界全体では減少
- ◆ **輸送機器**  
「自動車」向け関連工具を中心に販売が減少
- ◆ **機械**  
「超硬工具」向け販売が減少  
「軸受」向け販売が減少
- ◆ **石材・建設**  
日本の販売は微増  
海外の流通商品は減少

# 地域別売上高及び構成比見通し(連結)

単位:百万円

	'19年3月期 通期実績	構成比 %	'20年3月期 通期初予想	構成比 %	'20年3月期 通期修正予想	構成比 %	対期初予想 増減額	前年同期 増減率%
日 本	21,220	51.7	21,000	53.6	19,600	54.4	▲1,400	▲7.6
台 湾	3,519	8.6	3,400	8.7	2,700	7.5	▲700	▲23.3
中 国	3,897	9.5	3,200	8.1	2,950	8.2	▲250	▲24.3
その他アジア・オセアニア	5,641	13.7	5,700	14.5	5,200	14.4	▲500	▲7.8
欧 州	4,006	9.8	3,400	8.7	3,300	9.2	▲100	▲17.6
そ の 他	2,760	6.7	2,500	6.4	2,250	6.3	▲250	▲18.5
海 外 計	19,825	48.3	18,200	46.4	16,400	45.6	▲1,800	▲17.3
合 計	41,046	100.0	39,200	100.0	36,000	100.0	▲3,200	▲12.3

注)修正予想は2019年10月31日発表数字

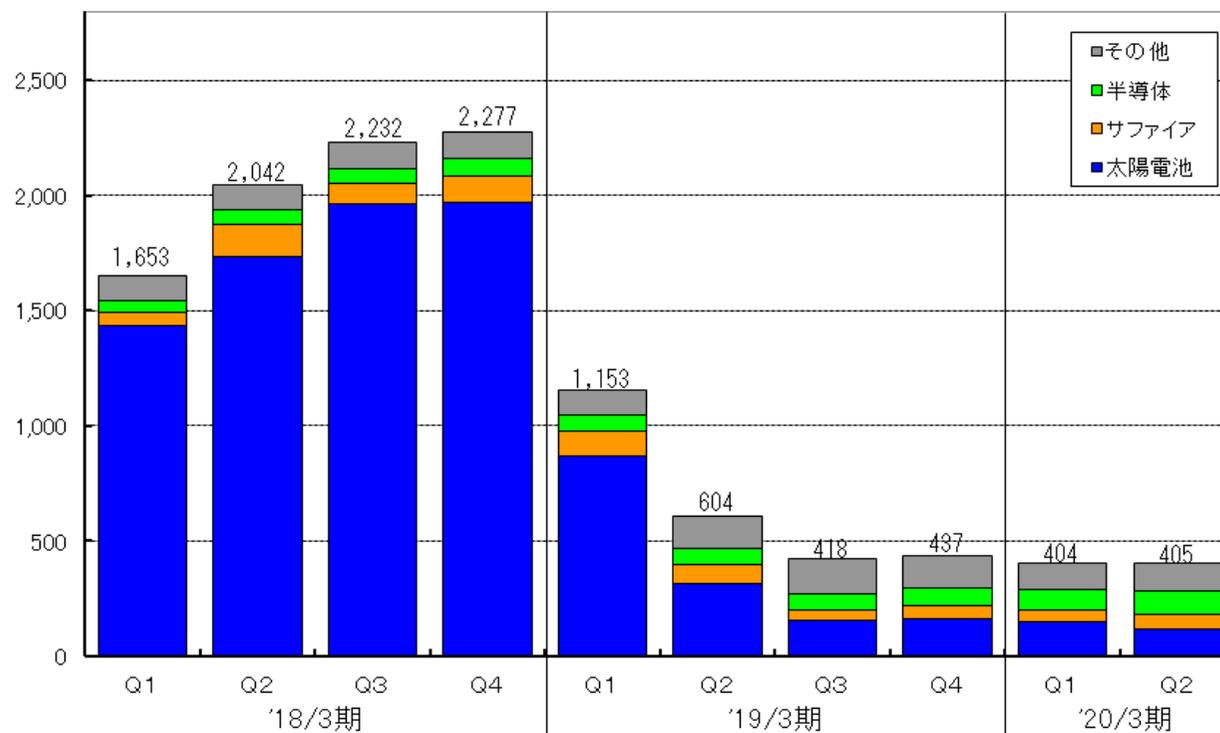


◆ 各地域とも、景況悪化や電着ワイヤの販売減等により、対期初予想額及び前年実績比でマイナス

# 「電着ダイヤモンドワイヤ」売上高推移と見通し（連結）

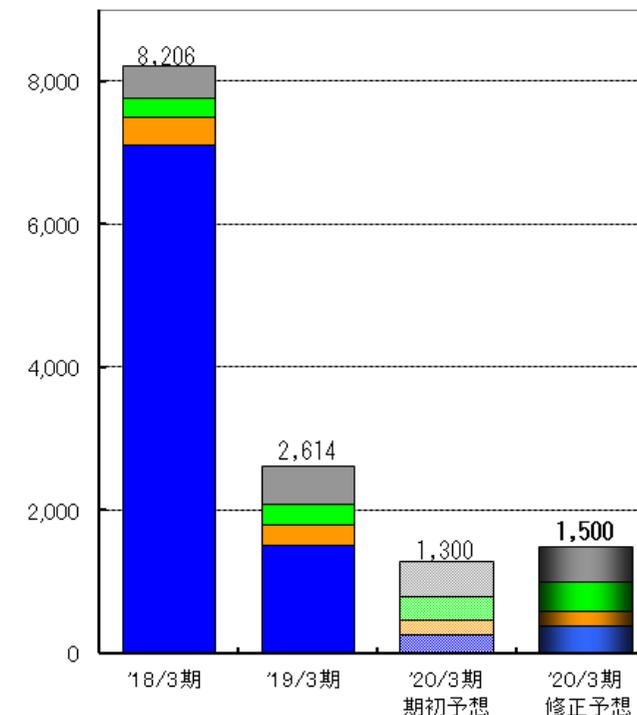
四半期別推移

(百万円)



年度別推移及び見通し

(百万円)



◆ 2020年3月期上期実績: 8.1億円(前年同期比54%減)

- ・「太陽電池」向け…販売減少
- ・「太陽電池」以外…「サファイア」向け減少、「半導体」向け増加

◆ 2020年3月期通期見通し: 15億円(前年比43%減)

- ・「太陽電池」向け…下期も減少
- ・「太陽電池」以外…「半導体」向け増加見込み



1. 2020年3月期第2四半期決算の概要

2. 2020年3月期の見通し

**3. 成長戦略と中期経営計画**

## 電子・半導体向け工具

- ⇒ 高速通信の普及: 5G化
- ⇒ IoT及びAI: 処理機器需要増
- ⇒ 高容量化: メモリー等の需要増
- ⇒ 自動車のPHV、電動化(制御機器、センサー)



## 輸送機器向け工具

⇒ 歯車関連：変速機(多段化+高精度化。エネルギーロス改善)  
減速機(ロボット、EVの普及)

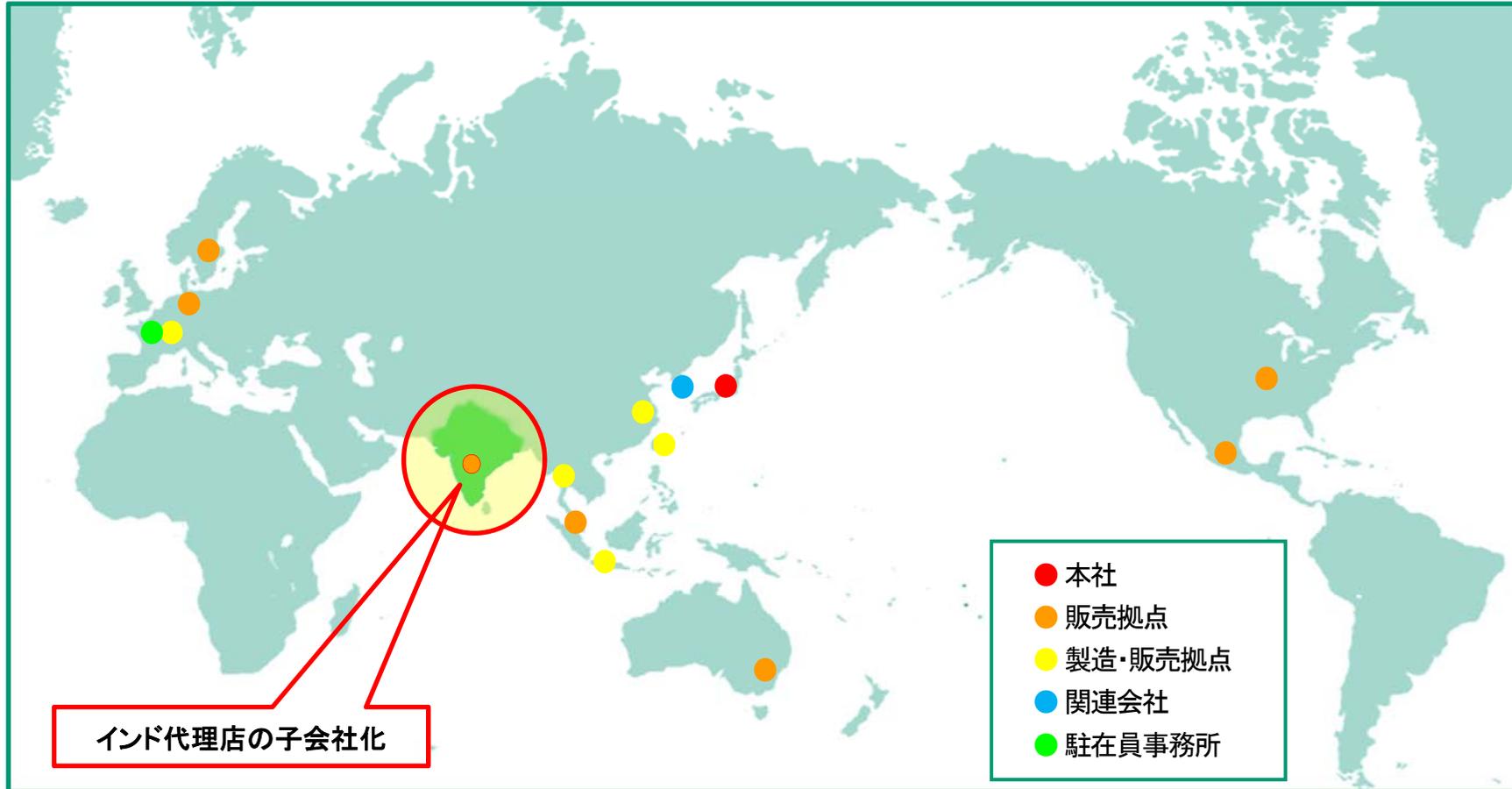


## 機械向け工具

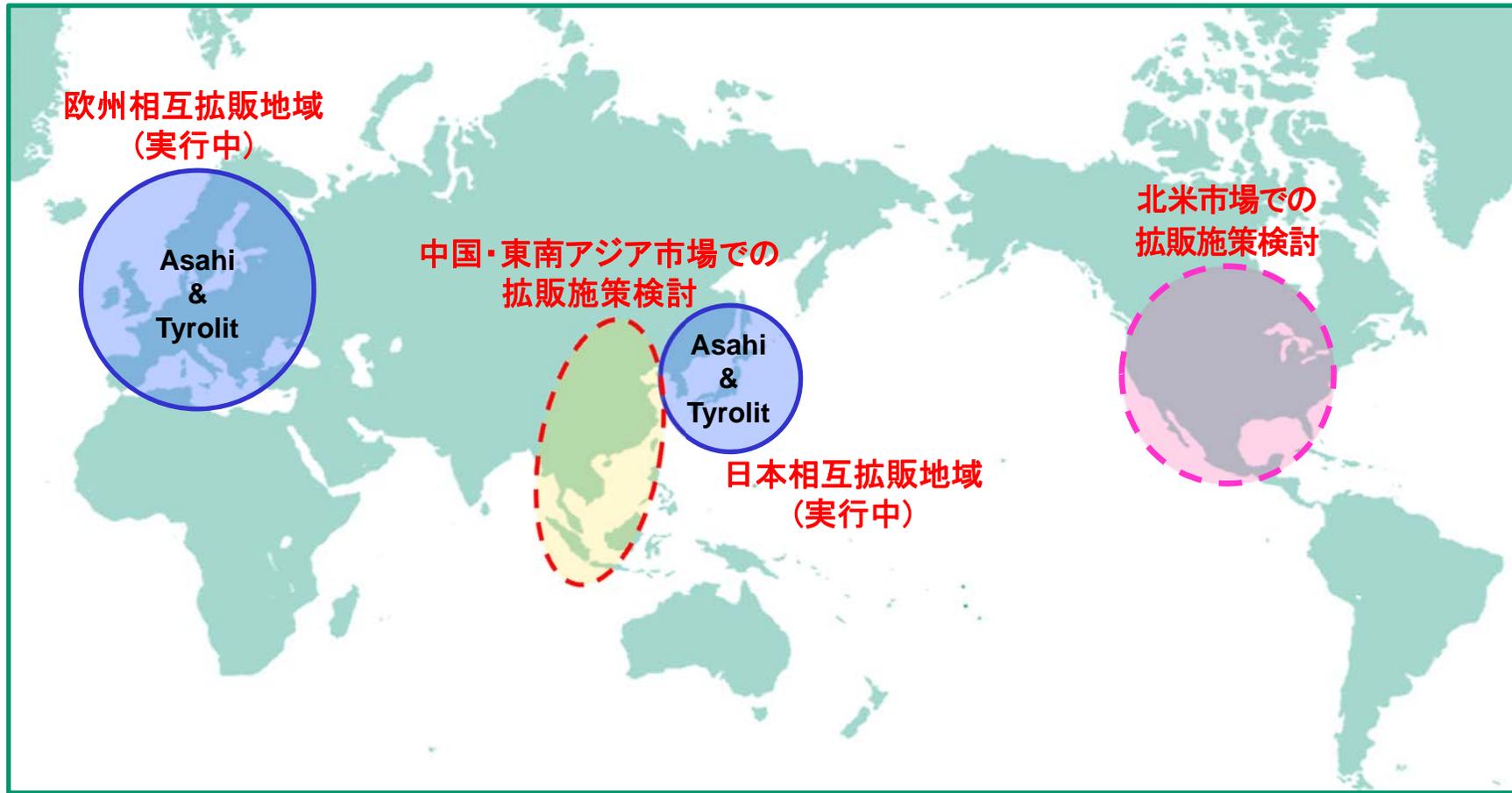
⇒軸受関連：回転機器の増産(ロボット、EVの普及)



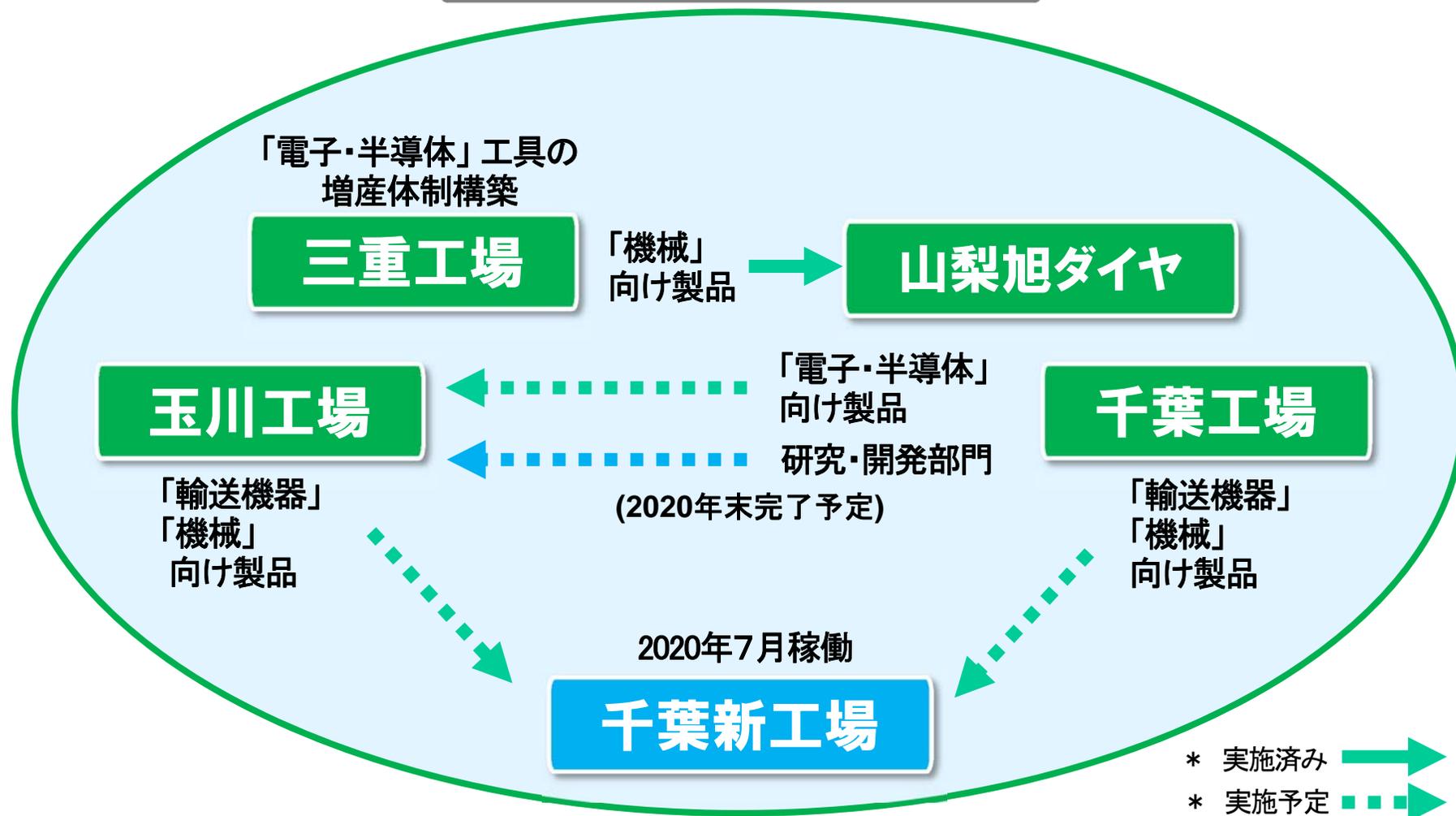
## 販路の拡大施策



## 販路の拡大施策



## 工場別生産品目の再編



## 新たな製造・ 開発体制の構築

- ・中期的な国内製造開発体制の構築
- ・営業基盤拡大、生産効率向上

## 戦略的な海外展開

- ・各拠点の現状の課題確認
- ・市場ニーズとの乖離を埋める

## 人材の育成・配置

- ・製造開発、海外展開強化の為の  
人材の育成
- ・効果的な人員配置

次期中期経営計画:2020年度期首発表予定  
実行期間:2020年度～2022年度

# モノづくりを もっと面白く

## 唯一無二 One and Only

世界の変化を先取りし、革新的技術とグローバルな組織力で、当社にしかできない製品・ソリューションを提供し続けます。

## 永続的な成長 Eternal Growth

モノづくりに携わる全世界のお客様から最も頼られる存在となり、永続的に成長する企業を目指します。

## 働きがい Job Satisfaction

仕事のやりがいを個々の成長に結び付けて持ち味を引き出し、全従業員がいきいきと働く企業を目指します。

本資料には、過去の事実以外に今後の業績見通しや計画が記載されていますが、これらの見通しや計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

